

# 春日町まるっと発見プロジェクト

練馬区地域おこしプロジェクト  
事業報告会

団体名



事業名

春日町まるっと発見プロジェクト

# 春日町組織部メンバー



早川



金子部長



要

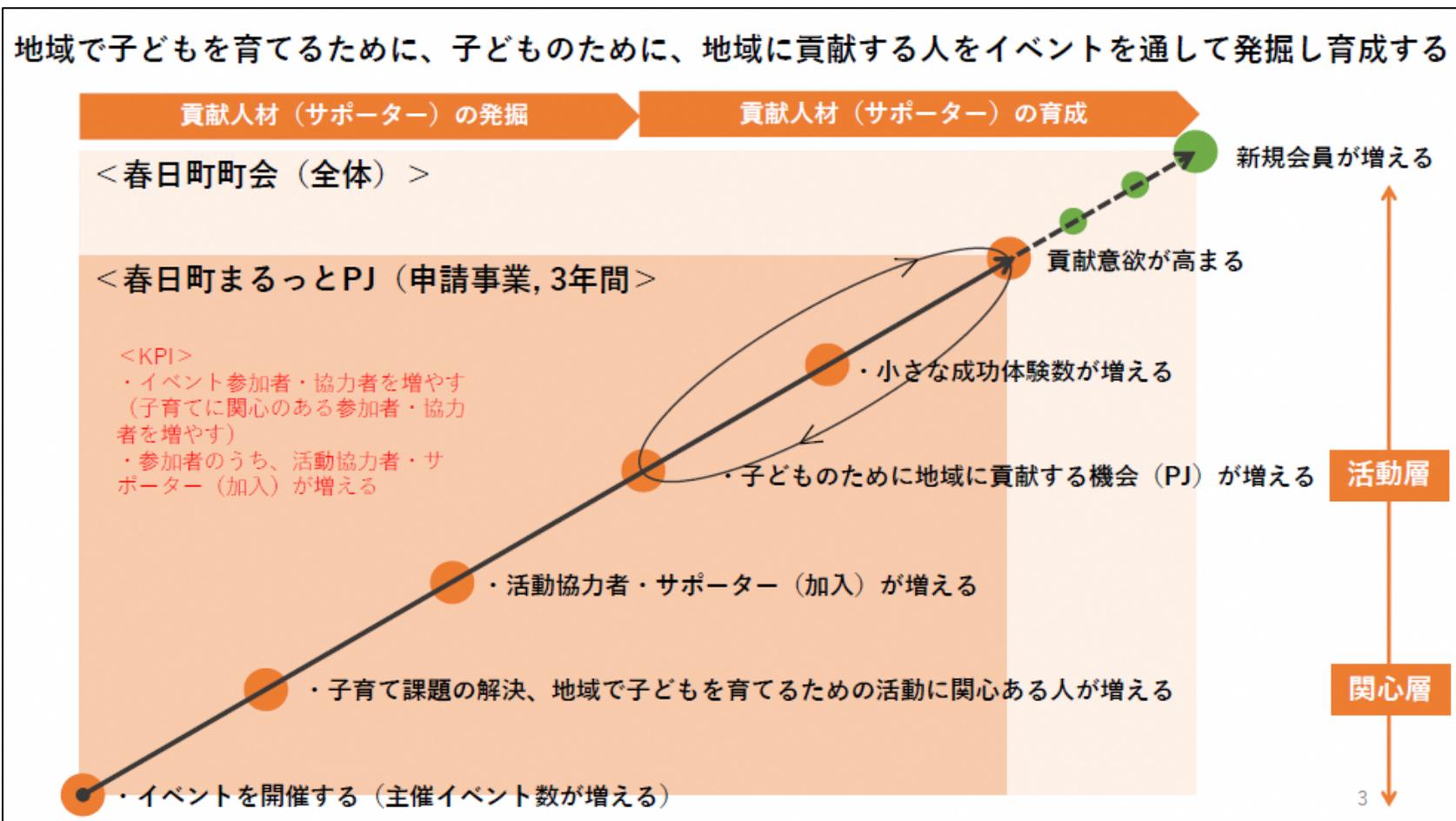


宇井

# 事業目的

- 住民が楽しく参加し、横のつながりを継続できる「持続可能な催し」を作る。
- 住民にイベント運営に主体的に携わってもらうことで、住民同士の繋がりや春日町への愛着醸成を図る。
- 多世代による多様な主体とのパートナーシップによる魅力的なまちづくり体制を構築する。
- 上記を通じて、今後の町会活動を担う新たな活動体制を構築する。

## 3年間の到達目標



# 令和4年度（1年目）の当初計画

取組内容：謎解き街歩きラリー&いいところマッピング

## 目標

- 春日町在住の子どもから年長者までの作成する春日町にちなんだクイズも折り混ぜた謎解き街歩きラリーを開催。途中に休憩所として商店などから軽食の出店なども。
- 配信で商店の紹介なども含め街の魅力も発信。
- プロボノで回収したニーズ調査結果を元に住民からイベント運営参加希望者を募り、町会とともに作り上げる。
- 街歩きの際に発見した春日町の「いいところ」をマッピングする企画も同時開催。
- 秋頃に1週間～1ヶ月程度開催のイメージ。

## スケジュール

- |        |   |
|--------|---|
| 4月     | <ul style="list-style-type: none"><li>• 運営協力者募集開始（プロボノの調査で予め運営協力希望者リストも得る予定なのでそちらも参考にしながらSNSやチラシ、回覧板で広く募集）</li><li>• 謎解き業者の選定・運営打合せ</li></ul> |
| 5月     | <ul style="list-style-type: none"><li>• 図書館及び各商店などに協力交渉、オファー開始・謎解き業者相談開始・運営打合せ</li></ul>  |
| 6～8月   | <ul style="list-style-type: none"><li>• 謎解き詳細打合せ/運営、商店等打合せ</li></ul>  |
| 9～10月  | <ul style="list-style-type: none"><li>• 謎解きラリー&amp;いいところマッピング開催/アンケートも取り次年度以降の運営協力希望者追加募集</li></ul>   |
| 11～12月 | <ul style="list-style-type: none"><li>• イベント振り返り、反省会</li></ul>  |
| 1～3月   | <ul style="list-style-type: none"><li>• 次年度ワークショップについて検討</li></ul>  |

# 令和4年度（1年目）の事業進行

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
企画・検討	● 2/15	● 2/28	● 3/14	● 4/12	● 5/10	● 5/23	● 6/18	● 8/24	● 9/21	● 10/12	● 10/28	● 11/8	● 11/18	● 12/15	
謎解き運営協力者の選定				打合● 4/25	業者決定● ○/○			ロケハン立会● 9/20							
公共施設、近隣商店の協力						謎解き問題用紙内で紹介 解き問題用紙を店舗・施設内で配布 イベントチラシを店舗・施設内に配架									
ボランティア募集						ボランティアスタッフ募集									
謎解きイベント										謎解き街歩きラリー 11/19-27 (9日間)					
										謎解きブース @春日神社 11/23→26 (雨天中止)					
いいところマッピング										春日神社 11/19-27 (9日間)					
											春日町図書館				
イベントふり返し、反省会												● 12/15	● 1/17		
次年度事業の検討													● 1/17	● 2/15	● 3/28

# 令和4年度（1年目）の取り組み結果



**春日町をもっと好きになる9日間**  
**たぬき探偵シリーズ**  
**春日町 謎解き街歩きラリー**  
 街に隠された謎を解き明かせ！  
 難易度：小学生以上

2022年 **11月19日**～**27日**  
 時間：9:00-21:00 場所：練馬区春日町1丁目～6丁目  
 主催：お蔭合せ kasugacho.soshikibu@gmail.com

KPI	目標値	結果
イベント参加者数	2000組	問題用紙の配付数 約1,320枚
イベント参加者のうち子育て問題への関心度が高まった人の割合（アンケート聴取）	3割	約79%
イベント参加者のうち今後イベントやまるっとPJの活動に協力してもいいと答えた人（アンケート聴取）	5割	約9%
イベント参加者のうち春日町サポーターズへの新規登録者数	10名	約60名 ※昨年度までも含めた各種イベントを通じた増加数の数値。
イベント終了後に実際の活動参加者数	3～5名	未集計
イベント活動への参加を通して「地域の人たちとつながりができた」と実感している人の割合	2割	未集計

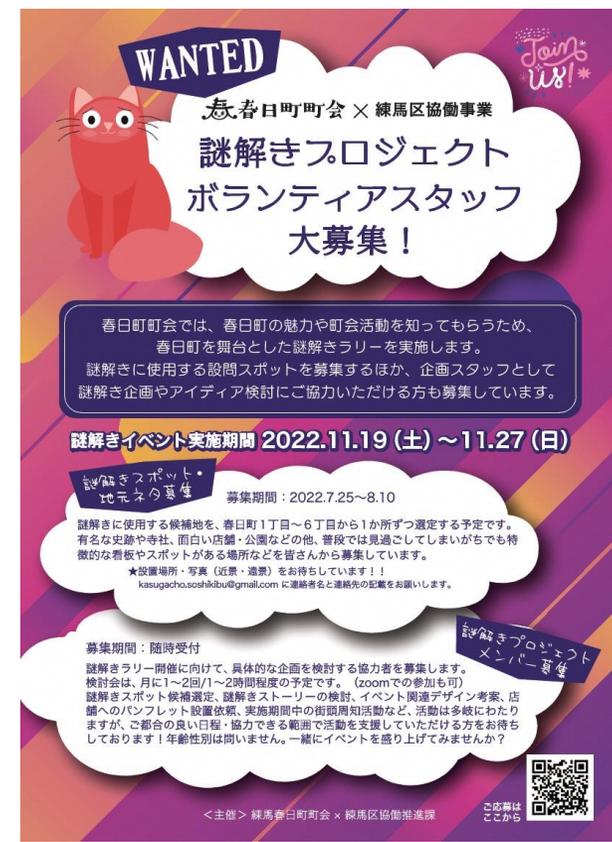
- 謎解き問題用紙⇒1324枚配布
- アンケート回収⇒94件

- サポーターズ⇒3名お声掛けあり

- イベントデー（延期）⇒参加者200人⇒謎解きシート配布90枚程度

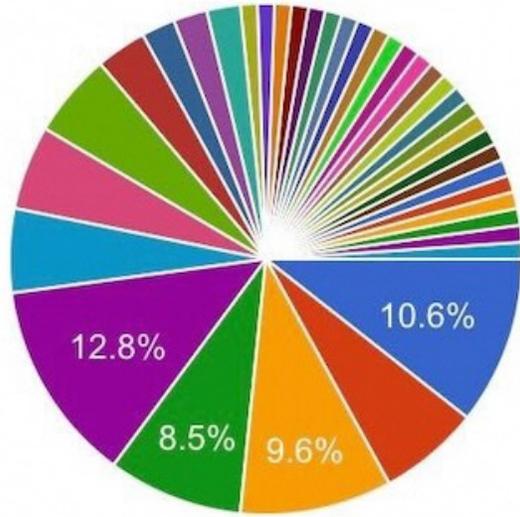
- ⇒SNSフォロワー Instagramフォロワー 212⇒240 Facebookいいね 136⇒141

- 景品配布（タオル）⇒約500枚



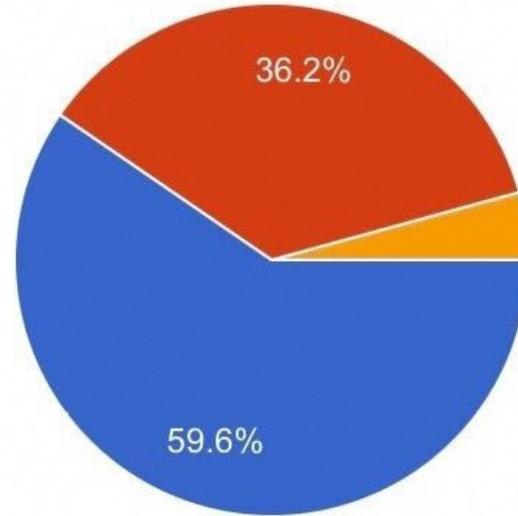
# 謎解きラリー参加者の声 (N=94)

お住まいの地域



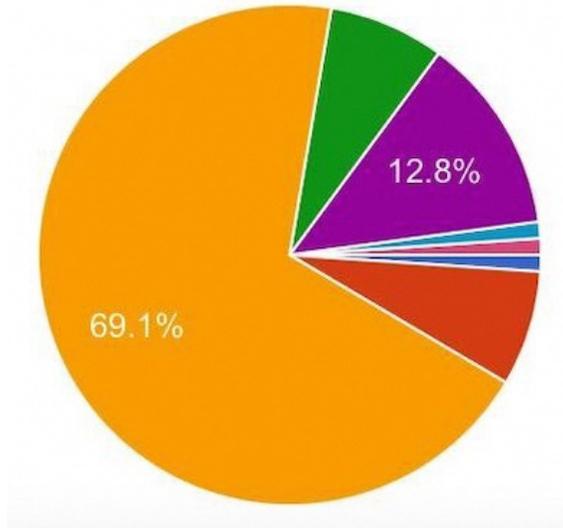
- 春日町1丁目
- 春日町2丁目
- 春日町3丁目
- 春日町4丁目
- 春日町5丁目
- 春日町6丁目
- 高松1丁目
- 早宮4丁目

満足度



- 非常に満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 非常に不満

今後、春日町町会のイベントなどの地域活動に協力してみたいと思いますか。



- 企画から参加協力してみたいと思う
- ボランティアとしてイベント当日のお...
- イベント参加者として楽しみたいと思う
- 興味はあるが様子を見たいと思う
- 思わない
- 田柄在住のため
- 興味があるのですが、仕事があるため...

# 春日町こどもほっとスポット（1年目の成果）

## お家の方へ

春日町町会では「ひとにやさしいまちづくり」をテーマに、子どもが安心して過ごせる環境を地域全体で作り出していく取り組みを行っています。春日町こどもほっとスポットのメッセージを親子で受け取って頂けると幸いです。

## 商店・企業・施設の皆さまへ

「春日町こどもほっとスポット」の取り組みにご賛同頂き、参加を希望される場合は下記までご連絡をお願いいたします。

## ☆「ほっと」がたくさんあるところ☆

〔ほっと1〕 こどもたちがホッとひと息つける場所

「おトイレかりれるよ」

〔ほっと2〕 大人たちが、こどもを優しい目でホッといてあげられる場所

「平日のひるまにきてても大丈夫だよ」

〔ほっと3〕 こどもたちが、ホッと気持ちになれる場所

「おつかいのとき見まもるよ」

〔ほっと4〕 人と人をつないでホッとけない感情を持てる場所

「こまったら手つだうよ」

ほっとがたくさんある場所はこちらだよ。きがるにホッとしにきてね！



# 令和4年度（1年目）の成果・課題

成果		課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 春日町町会組織部と練馬区協働推進課との協力体制が構築できた。</li> </ul>	<p>住民が楽しく参加し、横のつながりを継続できる「持続可能な催し」を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 謎解きラリー（委託）を主体としたイベントであったことから、どのように次年度以降持続可能な催しとしていくか検討する必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ イベントの参加者の半数が春日町住民であり、謎解きラリーへの参加を通じて、普段行ったことがない町内を知る機会を提供し、春日町愛着醸成の機会を提供できた。</li> </ul>	<p>住民にイベント運営に主体的に携わってもらうことで、住民同士の繋がりや春日町への愛着醸成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 住民にイベント運営に主体的に携わってもらうことを狙ったボランティアスタッフへの応募は低調、企画・運営スタッフの参画は不十分。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 掲示物等への協力依頼を通じて地元の商店と顔の見える関係を構築できた。</li> <li>□ としまえん水と緑の公園で遊ぶ会と協働で、「やきいも防災訓練」と「謎解きブース」を企画できた。</li> <li>□ イベントの運営を通じて春日町他部や多胎児サークル等の他団体と協働した。</li> </ul>	<p>多世代による多様な主体とのパートナーシップによる魅力的なまちづくり体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 謎解きイベントは天候不順の影響を受け、イベントを通じた、参加者との交流の時間を十分確保できなかった。</li> <li>□ 少人数で回すことになり、避けたかった「イベント疲れ」が発生した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 地域住民の町会活動への理解は深まった。</li> <li>□ 町会内での組織部のイベントに対する理解が深まり、今後のイベントにおける他部との協力体制が構築できた。</li> </ul>	<p>上記を通じて、今後の町会活動を担う新たな活動体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 企画・運営段階から参加してくれる住民、春日町町会に入会したい住民はまだまだ不十分である。</li> </ul>

# 令和5年度（2年目）における解決策（案）

1年目の課題		2年目の課題解決策（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 謎解きラリー（委託）を主体としたイベントであったことから、どのように次年度以降持続可能な催しとしていくか検討する必要がある。</li> </ul>	<p>住民が楽しく参加し横のつながりを継続できる「持続可能な催し」を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 地元の仲間で「一緒に実現させたい！」というキラーコンテンツを打ち出す。</li> <li>❑ プロジェクトチームを立ち上げ、他団体の協働による企画検討体制を構築する。（町会員に頼りすぎない）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 住民にイベント運営に主体的に携わってもらうことを狙ったボランティアスタッフへの応募は低調、企画・運営スタッフの参画は不十分。</li> </ul>	<p>住民にイベント運営に主体的に携わってもらうことで、住民同士の繋がりや春日町への愛着醸成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 「みんなで何をやりたいか？」も考えるワークショップを年度当初に実施。</li> <li>❑ 企画と運営を明確に分けて、プロジェクトチームメンバーを募集する。（個人に頼りすぎない）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 謎解きイベントは天候不順の影響を受け、イベントを通じた、参加者との交流の時間を十分確保できなかった。</li> <li>❑ 少人数で回すことになり、避けたかった「イベント疲れ」が発生した。</li> </ul>	<p>多世代による多様な主体とのパートナーシップによる魅力的なまちづくり体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ イベント期間を長めに設定する（天候対策）</li> <li>❑ 順延日を事前に決めておく。</li> <li>❑ イベントを通じて、参加者との対話の機会を確保する。</li> <li>❑ イベント疲れが発生しない体制の確保。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 企画・運営段階から参加してくれる住民、春日町町会に入会したい住民はまだまだ不十分である。</li> </ul>	<p>上記を通じて、今後の町会活動を担う新たな活動体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 「春日町妄想会議」を開催し、地域おこしのプロジェクトを決める段階から地域団体、地域住民と共に企画を検討する。</li> </ul>

# 令和5年度（2年目）の計画 ～課題の克服、事業の発展～

- 1年目の方法の場合、協力者は集まるが、一緒に実施する仲間捜しに限界があると認識。
- 3年目に「みんなで一緒に実現させたい」イベントを実施することをゴールとして、2年目は「仲間づくり」と「イベント企画」に集中する年に。

## 春日町妄想会議

ファシリテーターのもとで、子育てしやすく暮らしやすい春日町の実現のために、みんなでやってみたいこと、応援したいことを自由に意見を言い合える場を提供し、3年目のイベントを丁寧に選定していく。

- ① アイデアオーナー（自分のやりたいことを持った人）の発掘
- ② フォロワー（協力者、応援者）の発掘
- ③ シーズ（やりたい）とニーズ（支えたい）のマッチング
- ④ 3年目のイベントを選定
- ⑤ プロジェクトチームの結成

# 令和5年度（2年目）の計画

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
妄想会議の企画 ● 企画		● 5月上旬 開園セレモニー で周知										
アイデアオーナー（自分のやりたいことを持った人）の発掘			● 6月 妄想会議①		● 8月 妄想会議②		● 10月 妄想会議③					
フォロワー（協力者、応援者）の発掘			● 6月 妄想会議①		● 8月 妄想会議②		● 10月 妄想会議③					
シーズとニーズのマッチング								● 11月 妄想会議④				
3年目のイベントを選定									● 12月 妄想会議⑤			
プロジェクトチームの結成										● 1月 妄想会議⑥		

## 令和6年度（3年目）以降の展望

- 妄想会議を行った結果、いくつかのプロジェクトを実現させる。具体的には、春日町内に開園する都立練馬城址公園を会場に想定し、子育てしやすく暮らしやすい春日町の新たな定例イベントを他団体と連携して実現させる。
- 「あのイベントがあるから、あの仲間達がいるから春日町で暮らしたい」と言われる春日町へ。